

2014 春季生活闘争勝利総決起集会アピール

われわれ連合鳥取は本集会で、「すべての組合が月例賃金の引き上げにこだわる」、「『底上げ・底支え』『格差是正』にこだわる」、「デフレからの脱却と経済の好循環の実現にこだわる」決意を確認した。そのうえで、改めて次の点を主張し交渉のヤマ場に臨む。

すべての労働組合が月例賃金の引き上げを実現しなければならない。そのことが、我慢の限界を超えている規模間格差問題をはじめとする様々な格差是正や、非正規労働者の処遇の改善など、傷んだ雇用と労働条件の改善につながる社会的な運動となる。加えて、物価上昇局面において、実質賃金の維持をはかることが必要であることを強く主張する。

経営側は、経済の好循環実現に向けた労使の役割を認識しつつも、賃上げに慎重な姿勢を崩しておらず、「業績向上分は賞与による還元が基本」「個別企業の賃金は自社の支払能力に基づき判断」という主張を繰り返している。

われわれは、月例賃金の引き上げをコスト増とする従来からの経営側の発想を転換させ、「人への投資」が産業・企業の成長につながり、経済の好循環に結びつくものであることを強く主張する。

国会では、派遣労働の期間制限の大幅緩和や有期契約労働者の無期転換ルールの一部見直しなどが進められようとしている。労働者保護ルールは働く者が安心してくらすための基盤であり、これを「岩盤規制」と呼び改悪しようとする動きを全力で阻止しなければならない。また、「働くことを軸とする安心社会」を支える社会保障と税の一体改革の着実な前進や、非正規労働者の均等・均衡処遇確立の取り組みを強力に進め、今国会における「最重点法案」として位置づけたパートタイム労働法改正案など8法案を中心に、政策・制度実現の取り組みを社会的に広がりのある運動として展開する。あわせて、大手と中小企業における適正な取引関係を確立させるために、消費増税の価格転嫁を阻害する行為の是正措置にも取り組んでいく。

2014 春季生活闘争は大詰めを迎える。連合鳥取に集うすべての労働者がその役割と責任を自覚し、決着に向け粘り強い交渉を行い、すべての働く者の期待に応え、要求趣旨に沿った答えを引き出す闘いを進めよう。

連合鳥取は、正規・非正規、組織・未組織、企業規模にかかわらず、すべての働く者の「底上げ・底支え」「格差是正」を実現し、社会的賃金決定メカニズムとしての春季生活闘争を力強く推進する。総力を結集し、ともに闘おう！

2014年3月7日
連合鳥取 2014 春季生活闘争勝利総決起集会
(東部地協・中部地協・西部地協共通)